



社団法人庄和町シルバー人材センター第27回定期総会議事録

日 時 平成15年5月22日(木)午後1時30分～午後3時30分
場 所 埼玉県北葛飾郡庄和町大字米崎389番地3
庄和町社会福祉センター 大和室

会 員 数 363名

出席会員数 196名 委任状86名 欠席者81名

議決事項

第1号議案 平成14年度事業報告承認について

第2号議案 平成14年度収支決算承認について

監事による監査報告

そ の 他 平成14年度会員互助会収支決算承認について

監事による監査報告

1 議長選任の経過

司会者である理事の遠藤 壽一が議長の選出方法について議場に諮れば、司会者一任の声あり、司会者は、このことについて議場に諮れば全員異議なく承認を得た。司会者はこれに基づき会員の林 寅三氏を指名し同氏が議長に選任された。

議長は、資格審査報告を行い、総会開催成立を宣言した。

2 議事録署名人の選任及び書記任命について

このことについて、議長が議場に諮ったところ議長一任の声があり、よって議長は、議事録署名人に正会員の土淵 道茂氏、同じく坂本 幸子氏、書記に事務局の池田 秀樹、木村 和子を指名し全員の賛同を得て任命した。

3 議事の経過の概要及びその結果

議長は、第1号議案 平成14年度事業報告について説明を求めた。

始めに、理事長である石原 弘から事業報告 概況について説明を行い、続いて専務理事の新井 俊雄が 事業報告、そして部会(委員会)別報告を各担当理事が議案書P.1から8までを説明した。

次に、議長は質疑を求めると、質疑なく採決を諮れば、全員拍手をもって賛

同を得たので、議長は本件が可決承認されたことを告げた。

続いて第2号議案である平成14年度収支決算について事務局に説明を求めた。

事務局長は、議案書P.9から11の収入の部及び支出の部について科目及びその内容などについて大科目を主体に決算額を説明した。

さらに、議案書P.12から15までの正味財産増減計算書、貸借対照表などの科目及び金額について説明した。

その後、議長は、代表監事である木村 光彦氏に監査報告をさせた。

代表監事の木村氏は、決算書類は正確に作成され、かつ、事業も適正に執行されていると報告した。

その後議長は、質疑を問えば、会員の関根 進氏からP.11委託費の委託先の件数について、質疑があり事務局は、パソコンの保守料、事務所の警備保証料、事務所清掃委託料、看板等作成料であると答弁した。

他に質疑を求めれば、会員の河本 忠光氏から予備費について質疑があり、事務局長は、予算額4,394,000円のうち就業開拓提供費や安全・適正就業推進費等へ補正した金額に残額が生じたため、その残額分の2,760,000円を補正し、決算額が0円になったと答弁した。

また、同氏より運営資金積立預金支出について質疑があり、事務局長は、補助金等が入金されるまでに、会員の配分金等の支出が発生するため、それを賄うための運営資金の積立と答弁した。

議長が他に質疑を求めるが、質疑なく採決を諮れば、全員拍手をもって賛同を得たので、議長は本件が可決承認されたことを告げた。

次に、議長は、その他より平成14年度会員互助会収支決算について、事務局に説明させた。事務局長は、議案書P.17中の科目及びその内容などについて概略を説明した。

その後、議長は、代表監事である木村 光彦氏に監査報告をさせた。

監事の木村氏は、決算書類は正確に作成され、かつ、事業も適正に執行されていると報告した。

議長は、質疑を問えば、会員の西留 廣志氏より臨時職員の採用について、センター会員から採用してはどうかとの質疑があり、事務局長は、全国的なシルバー人材センター職員の配置体制及び、現状の当センターの職員体制が臨時・パートを含め3名の会員であることを説明し、今回の採用の対象は、会員となる直前の年齢層の方であることを説明した。

続いて、西留氏より事務所の警備委託について、警備を会員就業に求めたが、事務局長より、月額委託料以下での会員就業は難しく、不可能と答弁した。

議長は他に質疑を求めるが、質疑なく採決を諮れば、全員拍手をもって賛同を得たので、議長は本件が可決承認されたことを告げた。

4 議長は、これにて全ての議事が終了したことを報告し議長は議長の責務を終えたことを告げた。

5 本会議の決議を証明するため、議長及び議事録署名人において記名押印いたします。

平成15年5月22日

社団法人庄和町シルバー人材センター
第27回 定期総会

議 長 林 寅 三

議事録署名人 坂 本 幸 子

議事録署名人 土 淵 道 茂